



がんばれ
 元気いっぱい
 走る保育園児

中部保育所運動会のスナップ

定例会報告.....2ページ
 臨時会報告.....4ページ
 一般質問.....5ページ
 特別委員会報告.....9ページ
 議会ひろば.....10ページ

9月定例会報告

災害復旧費などで一般会計1億2千282万円増額補正された 遠賀郡の合併に関する調査特別委員会が設置された



県立遠賀病院の外来受付

第三回定例会は、9月5日から24日までの20日間開催されました。町長から、平成8年度水道事業会計決算など十議案の提出と三件の報告があり、議員からは、遠賀郡の合併に関する調査特別委員会の設置についての発議など三件が提案され、可決十二件、認定一件という結果になりました。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

(可決)

健康保険法及び厚生年金保険法等の一部が改正されたことにより、条例の一部

改正が行われました。

これにより、9月1日から、今までの医療費個人負担のほかに、外来時薬剤の一部負担が必要になります。外来時薬剤の一部負担は、次のとおりです。

- 内服薬(二日分)
- ・ 一種類……………0円
 - ・ 二〜三種類……………30円
 - ・ 四〜五種類……………60円
 - ・ 六種類以上……………100円
- 外用薬(二調剤分)
- ・ 一種類……………50円
 - ・ 二種類……………100円
 - ・ 三種類以上……………150円
- 頓服薬(二調剤分)
- ・ 一種類……………10円

ただし、住民税非課税世帯等で高齢福祉年金を受けている人及び、六歳未満の乳幼児は、一部負担が免除されます。

母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

(可決)

母子家庭等医療費の支給に関する条例準則の一部改正に伴う条例の改正です。これにより、母子家庭等医療費の受給資格認定申請

期限の5年が廃止され、いつでも申請出来るようになりました。

福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の一部を変更する規約の協定について

(可決)

この組合は、福岡県全町村と十四市をもって組織されていますが、糟屋郡古賀町が本年10月1日から市制施行され古賀市となるため、組合規約の一部が変更されました。

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

(可決)

今回の補正は、平成8年度退職者医療制度の療養給付費交付金の精算確定に伴う返還金の増額補正です。これにより、歳入歳出それぞれ一千三百二十四円が増額され、予算総額は二十億九千七百八十七万六千円となりました。

公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(可決)

ポンプ場の汚水ポンプの交換及び、配管の取り替えなどの、修繕費の増額補正です。

これにより、歳入歳出それぞれ百三十万円が増額され、予算総額は十六億一千二百五十八万五千円となりました。

農業及び漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

(可決)

漁業集落排水事業においては、本年度予定事業の採択がされなかったための事業費の減額と、農業集落排水事業においては、委託料を減額し、その相当額を管渠工事費に増額されました。これにより、歳入歳出それぞれ九百四十万円を減額し、予算総額は一億三千四百三十八万円となりました。

一般会計補正予算 (第1号) (可決)

今回は、台風8号の豪雨及び梅雨前線豪雨による農業施設・公共土木施設の災害復旧事業費や、東部公民館の内部と駐車場の改修工事などに伴う予算補正がされました。

これにより、歳入歳出それぞれ一億二千二百八十二万円が増額され、予算総額は七十一億四千二百八十二万円となりました。

水道事業会計補正予算 (第1号) (可決)

ごみ処理施設周辺対策事業の一環として、戸切区の水道配水管を付設するための事業費が補正されました。

これにより、資本的収入では一千五百万円を増額し、一億一千三百五十五万五千円とし、資本的支出では一千五百八十五万円を増額し、二億五千四百二十五万三千円となりました。

水道事業会計決算認定について (認定)

平成8年度の水道事業の成果を示したものです。

収益的収入は決算額四億七千七百八十四万三千円、収益的支出は決算額四億二千四百八十八万五千円となり、差引五千三百三十八千円から消費税額を調整し、四千七百四十五万三千円の純益です。

資本的収支につきましては、収入決算額九千八百五十五万円、支出は一億七千八百六十二万九千円となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額八千七十九円については、内部留保資金と建設改良積立金等で補っています。

主な事業内容は、建設改良費の配水管の改良工事で総延長二千二百七十七メートル、浄水場の消毒設備の改良等を行っています。

当年度の一日最大配水量は一万八百五十トで、施設能力一万五千二百八十トに対し稼働率は七十・七一割です。



老朽化する大膳塚ため池の全景

あり、当分の間は給水に心配のない状況であります。

監査委員は決算審査意見書のなかで「会計では、經常利益の健全な伸びを示し、漏水防止については、調査点検を積極的に行った結果、有収率は前年を〇・六割上回る八十七・二割であり、給水人口規模別全国平均の有収率八十三・八割よりも上回っており、関係職員の管理努力を認めるものである。」

大膳塚ため池改修工事請負契約について (可決)

高倉区にある大膳塚ため池が老朽化し、決壊の恐れがありますので、ため池の安全確保と農業生産の向上を図るために改修工事が行

われます。
工事費は七千三百五十万円です。

遠賀郡の合併に関する調査特別委員会の設置について (可決)

遠賀郡の合併については、議会としても「地方分権推進への対応」「増大する広域的な行政需要への対応」「高齢社会への対応」などの観点から、町民のコンセンサスを得ながら進める必要があるということで、調査研究のための特別委員会が設置されました。

スポーツ振興くじの拙速な導入に反対する意見書 (可決)

スポーツ振興くじは青少年の健全育成などの観点から、日本PTA全国協議会などより、青少年への悪影響を懸念する声が上がっており、導入には極めて慎重な検討が必要である。よって、拙速な導入に反対する意見書を、内閣総理大臣をはじめ政府関係機関に提出しました。



災害箇所(湯川区内の道路)

新たな道路整備五箇年計画の策定に関する意見書
(可決)

活力ある地域づくりや、豊かな暮らしづくりを支援

するためには、高規格幹線道路から市町村道に至る道路網の整備を一層促進する必要があります。

そのための財源を、一般財源化や道路以外の用途への転用をすることなく、道路特定財源を堅持し、全額を道路整備に充当すること

を強く要望する意見書を政府に提出しました。

財団法人岡垣サンリーアイ管理公社決算報告について
(報告)

平成8年度は、文化講演会や文化講座及び各種イベント等が開催され、施設利用者数は昨年より二万七千人増の、十八万九千人となり、施設使用料についても昨年以上を回り、二千二百二十九万一千円となりました。本年の主な自主事業は、



道路改良工事がすすむ町道尾畑・小局線

由紀さおり・安田祥子の童謡コンサートや岡垣お笑い劇場(吉本新喜劇)、はらたいら・金田一春彦・鈴木健二などの文化講演会が開催され、文化芸術の向上に努めています。

今後も、生涯学習の拠点施設として、町民参加で文化講座などを企画し、新しい文化の創造と地域文化の向上に努めていくと決意が示されました。

専決処分の報告

就労事業の人件費などの補助事業費単価改定により、百十四万円増額したと報告されました。

特定地域開発就労事業尾畑・小局線道路改良工事請負契約の変更
(報告)

就労事業の人件費などの補助事業費単価改定により、百十四万円増額したと報告されました。

海老津小学校大規模改造工事(2期工事)請負契約の変更
(報告)

工事の進行に伴い、教室床下地や外壁浮き等の補修工事が必要になったため、二百五十万円増額したと報告されました。

請願・陳情

本定例会で、請願一件と継続の陳情二件の合計三件を審議しましたが、請願は継続審査となり、陳情二件は不採択となりました。

「臍帯血移植への医療保険

の適用と「公的臍帯血バンク」の設立を求める意見書の提出に関する請願書
(継続審査)

「国民の祝日に関する法律」の改正の実現に関する陳情書
(不採択)

「国有林の民営化に反対し、国有林の再生を求める意見書」の提出に関する陳情書
(不採択)



おじいさんから子供まで一緒に汗を流す10月10日の体育の日

臨時会報告

臨時会

平成9年第四回臨時会が7月29日開催され、町長から一議案の提出があり、承認されました。

土地開発公社役員の内命について
(承認)

公社役員の内命満了に伴い、新たに羽山健一氏が任命され、他の役員は、全て再任されました。

役員名(敬称略)

- 理事 早川 達生
- 理事 竹井 信正
- 理事 木原 信次
- 理事 下川路 勲
- 理事 竹内 和男
- 理事 樋高 龍治
- 理事 生力 實裕
- 理事 羽山 健一
- 理事 柴崎 國雄
- 理事 木原 弘毅
- 理事 川原 征則
- 理事 刀根 大司
- 監事 須崎 義弘
- 監事 神村 幸彦



竹内 和男議員

人工透析患者等への支援を

質問 町長、ご自身も腎臓移植の手術をされた一人として、人工透析患者や通院支援ボランティアに対する支援について、どのような見解をもっておられるのか。

答弁 人工透析患者は、町内に四十九名おられ、週三回透析を受けるため通院されていて、経済的・体力的に大変ご苦労されている。従って、ボランティアによる支援、社会福祉協議会の送迎事業、福祉タクシーの利用、本人及び家族の自助努力等を組み合わせた支援体制を検討したい。

現在、町内に透析できる病院がないので、アンケート調査をもとに、本町の病院の開設についての陳情やボランティアで行われている

る送迎に要する実費部分の支援なども、今後検討したいと考えている。

情報化推進計画について

質問 インターネット利用での行政効果は得られるのか。

答弁 高度情報化社会に対応した「人に優しい情報化の町」を推進する一つのメディアとして、インターネットを活用するようにしている。

一例をあげると、本町のホームページを開設し、文などさまざまな情報を発

信し、広く交流を推進する。また、国、県及び各種団体の最新情報を収集し、いち早く行政に反映出来るなど、飛躍的に住民サービスが向上すると考えている。

質問 地域カードシステムで、住民へのサービス向上はどのように見込まれるか。

答弁 現在、サンリーアイの自動交付機で利用されている「タウンカード」は磁気カードを使用しているが、ICカードシステムを導入することに、各種証明書発行、医療支援など、より広い分野の活用が見込まれるので、費用対効果を念頭に検討していきたい。



図書の貸し出しが磁気カードによりコンピューター管理されている

美観・風致を守る町条例の制定を



矢島 恵子議員

質問 快適な生活環境の形成について問う。

答弁 民間の宅地開発に伴い良好な景観や、生活環境を図るため、区域を定め建築協定や、緑地協定を定め、広範な都市景観の整備に努めている。

質問 海老津駅周辺の美観について問う。

答弁 総合的な景観の整備を進めるために、町では都市計画マスタープランを策定中である。

美観・風致を守るための町条例の制定については、民有地等に一定の制約をかけることであるので、地権者の理解と住民の協力が不可欠な条件である。

質問 吉木地区の美観と住環境について問う。



海老津駅前の景観

答弁 町の地域景観資源であり、町民の貴重な財産であると位置づけている。

建築協定や、地区計画の導入によって、町全体の景観形成を進める方向で検討していく。

水路の水量の問題は、県事業の水辺整備事業の中で考えたい。

登下校時の児童・生徒の安全確保は大丈夫か

質問 交通事故対策と、防犯対策について問う。

答弁 保護者、学校、地域、行政が密に連携を深め、通路の安全点検、防犯灯の増設、点検等も行い、子供達を事故から守り、凶悪事件を未然に防止する取り組みを強化し、各学校にも登下校時の指導を十分行うよう指示している。



細川 光利議員

戸切小学校児童数減少対策について

質問 全国的少子化傾向によって、各地方教育委員会

は種々検討を行い、地域の特徴を考えた施策が行われている。

同小学校の児童数と今後の推定児童数は。

答弁 現在、一年17名、二年8名、三年9名、四年18名、五年22名、六年18名の92名である。

五年後の推定児童数は、一年5名、二年9名、三年8名、四年9名、五年14名、六年17名の計62名になる。

質問 教育的効果の問題点と、近い将来を考えた具体策はどうなっているのか。

答弁 教職員、児童とも短所、長所の問題はある。

現時点では、具体的な検討は行っていない。



児童数が減少する戸切小学校

今後、小規模校のあり方について、調査研究している。と考えている。

同和行政終結と対象地区住民問題について

質問 同和問題の一日も早い解決をめざし、行政、町

民、対象地区住民の共同事業として、幾多の苦勞、試練、障害を乗り越え、平成8年度末をもって同和行政は終結された。

対象地区の自立宣言の状況はどうなっているか。

答弁 二十三世帯の内十数世帯から、自立宣言書が提出されている。

質問 自立宣言をしていない地区住民の理由はどうなっているか。

答弁 理由はわからないが、全員がするように話し合いをしている。

質問 全町民の協力で終結が達成されたものである。自立宣言書を提出している地区住民の立場を、尊重すべきである。

答弁 もうしばらく時間をいただきたい。



久保田秀昭議員

情報化に伴う個人情報保護について

質問 国、自治体の情報を公共財産と位置づけ、積極的に住民の側に利用権を与えるため登場したのが情報公開であり、基本的には、行政情報全てを公開すべきである。

個人情報の保護については、岡垣町では規則があるのみで、条例を制定していない。

高度情報化社会の急速な進展と、岡垣町で情報化推進計画を策定した現在、個人情報保護目的の条例制定は必要と考えるがどうか。

答弁 「岡垣町電子計算組織の運用に係わる個人情報保護に関する規則」を制定して、個人情報の保護に努めている。



住民票などをコンピューターで処理している町民課の窓口

実質的には条例とほぼ同様の規定及び条文になっているので、支障はないと考えている。

条例化については、国の情報公開法制定状況などを見ながら検討して行きたい。

質問 情報社会では、情報自体が市場価値を持つ時代である。

そこでは、商品にしてはならない情報までが商品になる。

こうした中で、自治体が保有する個人情報をめぐる「プライバシーの侵害」が後を絶たない。

規則は議会にかけずに自由にかえることができる。そういう点でも、町民の

チェックを受けて、個人情報保護条例をつくるのが大切だと考えるがどうか。

答弁 国の状況をみながら検討したい。



平山 弘議員

総合体育館建設と山田小学校問題について

質問 国と地方自治体の財政状況は、非常に厳しいといわれている。

本町の借金(町債)残高は、一般会計で、平成8年度末五十一億六千五百万円(町民一人当たり十七万五千円)になる。

町税収入は、平成9年度予算で二十五億一千万円であり、借金残高は一般会計だけで、町税の二年分にもなる。

一方、借金の返済(公債費)は、平成9年度予算で七億一千二百五十二万円であり、日々百九十五万円、町税の約三割を借金返済に充てていることになる。

るのは、行財政のあり方を問題にしているからである。

6月議会では、山田小の建て替えを優先する考えであったが、9月議会では、総合体育館と山田小学校建設を並行して行うと考え方が変わったがなぜか。

答弁 町の財源は、地方交付税もあり、町税だけで比較するのは妥当ではない。

6月時点では、山田小の建て替えを想定した財政検討をする前のため、どうしても財政的に厳しいとなれば、一般論として山田小を優先すると答弁した。

その後、財政面を慎重に検討した結果、両施設とも建設できると判断したため

である。

また、山田小学校の大規模改造と建て替えた場合の検討で、建て替えた方が、総事業費で五億八千四百万円増、補助金・町債等を勘案して一般財源で三億五千万円増となるが、長期的にみて投資効果・経済効果が上がると判断し、建て替えて行うようにした。

質問 町の財政計画でも、公債費が高くなっている。結局、その分町民のくらしや福祉・教育に、しわよせがいくのではないか。

答弁 住民に関わる予算はダウンしない。今まで通りのことはやっていきたい。



耐用年数が30年以上になる山田小学校

ごみ出し状況と収集について



下川路 勲議員

質問 中・西部地区は比較的民家も散在しているが、東部地区は密集しており、特に店舗の横や、沢山ごみ袋が集まるところは臭くて非常に迷惑している。

移動してほしいという苦情があるが。

答弁 そのような相談については、区長と収集場所の変更等を協議しまして、人に迷惑がからないようなところに収集場所を変更したりして対応している。

質問 蓋付きごみステーションを設置する計画はないのか。

答弁 カラスや野犬等のいたずら防止策として、区独自でそういう蓋付きごみ入れを設置しているところは見受けませんが、今のところ

町として設置計画はありません。

質問 モデル地区を作った取り組んでみようという計画はないのか。

答弁 リサイクル法の改正により、ごみ分別の細分化を今進めているところである。

広域組合のリサイクルプラザ計画とも調整を取りながら、じっくり検討したいと思っている。

質問 大型ごみの分別は、区長が大変困つてある様だが、現状はどうなっているのか。

答弁 この区も困つてあるのが現状である。

平成10年4月1日を目標

に、粗大ごみの有料化を指して、個別収集の計画がある。

質問 チラシなどを利用して指導すべきではないか。

答弁 あらゆる方法で、今後は取り組んでいきたい。

質問 転入者にも、詳しく説明し、この際、町のパンフレットを添えて、町への理解と協力をお願いしてはどうか。

答弁 ごみ分別は、転入者より、今住んである方の対応に困つているところであるが、今後は、町全般のパンフ等を手渡してPRに努めたい。



区独自で設置している蓋付ゴミ入れ



大森 忠勝議員

中部地区下水道整備の早期実現を

質問 中部地区下水道整備は、何年度より整備に取りかかるのか。

答弁 平成11年から吉木汚水中継ポンプ場の設計に着手して整備を進め、完了は国の補助が要望どおり受けられたら、平成22年度には整備完了予定である。

質問 アンケート調査の結果及び県の汐入川整備などを踏まえて、一日も早く出来ないのでか。

答弁 財政が許す限り、計画どおり実施したい。

処理施設の今後の計画と処理機能について

質問 計画と水処理や汚水処理などの施設機能は、十分発揮しているのか。



岡垣平野の農業用水を賄う門田ため池

答弁 現在、水処理施設の追加工事中である。

汚水処理施設は、機械処理と乾燥処理で行い、運転経費や臭気等に配慮した運転管理を進めている。

質問 乾燥処理の問題で陳情が出ているが、その後の使用について。

答弁 機械処理だけだと経費が掛かりすぎるため、配慮して使用している。

問題があれば再度調査をした。

農業用水の確保は

質問 安定した農業用水の確保をどう考えているのか。

答弁 平成6年の大千ばつを教訓に、各水利組合に効率よく無駄のない水管理をお願いしている。

質問 ポンプアップで、水の再利用計画はないのか。

答弁 財政面やあらゆる面を勘案して、考えて行かなくてはならない。

今後とも、ため池や水路の整備に全力を尽くしていきたい。



曾宮 良寿議員

子供たちの遊び場は

質問 公園やコミュニティ広場等、地域のいわゆる遊び場の維持管理、改修整備について、子育て世代や子供たちのことを考えてすすめてもらいたい。

答弁 公園管理については、除草や清掃は地元の方に、施設や植栽等は町で行っている。

改修に際しては、年次計画で地域の要望を取り入れ、子供からお年寄りまで利用できるように努めている。

コミュニティについては、地域の活性化の観点から、公民館活動助成制度もあり地域の考えに期待したい。

建設予定の総合体育館に

託児スペースを

質問 設計コンペ中の総合

体育館に、サンリーアイ文化施設と共用で、子育て世代に配慮した託児スペースを設けられないか。
また、コンペ審査基準のなかに子供たちへの配慮は考えられないか。
外は使用頻度の低い選手控え室を幼児室として、有効活用することを考えている。
なお、コンペでの設計図面範囲では、詳細についての把握が難しいので審査基準に入れていないが、子供たちのことも含めて、利用者への可能な配慮を行うのは当然で、実施設計を進める過程で検討していきたい。

実施設計の中で進める

答弁 専用の部屋の設置は考えていないが、大会時以

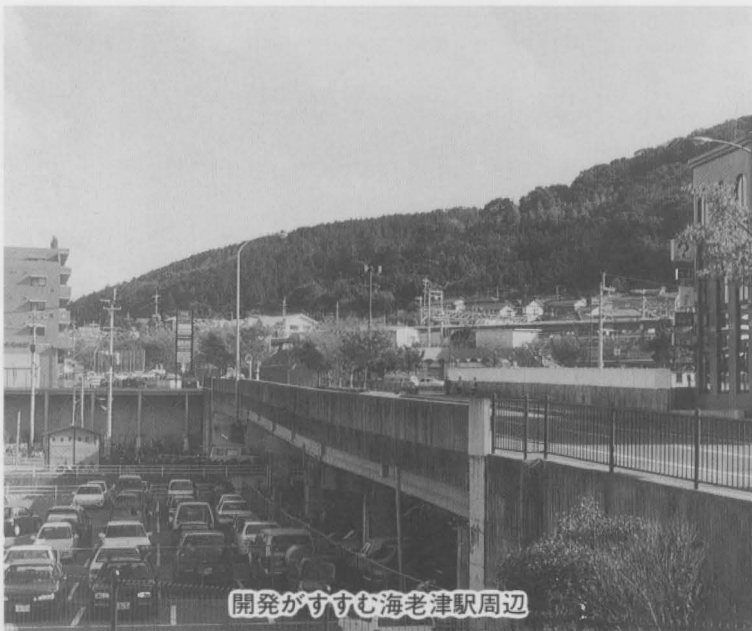


旭中央公園

駅周辺再開発調査 特別委員会報告

地理的条件も相まって住みよい町として人口は増え、三万人になろうとしています。

これから更に人口も増え、発展する岡垣の玄関にふさわしい「生き生きとした活気あふれるまちづくり」のためにも、商業地域の整備は必要であります。
地元商工会では、衰退す



開発がすすむ海老津駅周辺

る駅前商店街の活性化のために、再開発や再整備を目的とした調査計画策定事業に取り組み、平成9年3月に再整備事業で「花咲き商店街組合」が設立されました。

再開発事業は、核となる集合ビル建設など、その組織づくりに取り組まれており、株式会社方式か第三セクター方式等々を検討され、平成10年度には組織ができるよう、鋭意努力されてい

る状況であります。

町としても、駅周辺を快適で利便性に富んだ商業地域として再生させるために、都市計画マスタープランを策定中であります。

当委員会としても、商工会の活動状況及び都市計画マスタープランの策定状況を踏まえながら、調査研究を進め、駅周辺の再開発を促進したいと思っています。

総合体育館建設に関する調査特別委員会報告

6月議会で設置された当特別委員会の、10月までの委員会活動報告が、委員長よりあります。

特別委員会を7月23日から10月末までに五回開いてきました。

今までは主に、町が考えている総合体育館建設（二十一億円）の目的、利用・活用計画等の資料や建設に伴う中長期財政計画（管理費含む）の提出を求め、それに基づいて調査等を進めています。

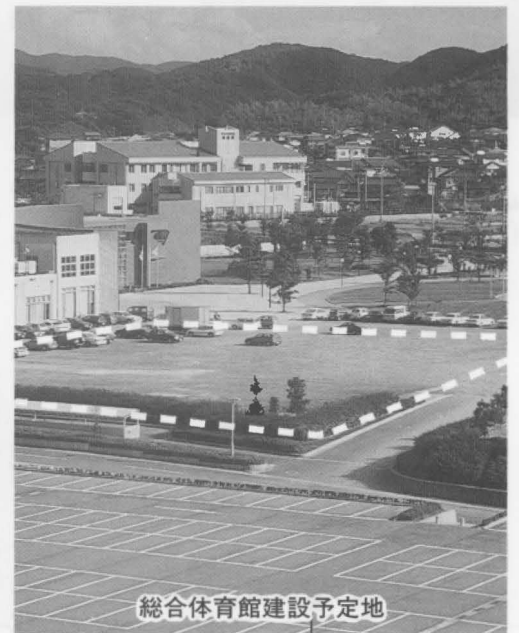
現在、町は実務的にはコンペ方式を採用し、実施設

計業者を選定する方法で進めています。

体育館建設に伴う作業は、どんどん進んでいます。体育館を建設してどの様に使うかという、具体的な利用・活用計画に不十分なところがあります。

重要な内容なので、町に対して早急な策定と提出を求めています。現在作業を急いでいるということであるから、それを待つて特別委員会を開くことにしています。

当委員会としては、町民の皆さんが納得いく体育館が建設されるように、調査・研究をしていきます。



総合体育館建設予定地

9月議会で遠賀郡の合併に関する調査特別委員会設置される

委員長の所信表明

遠賀郡の合併は、国の地方分権の流れを受けて、避けては通れない問題です。いずれにしても、大変な大役を仰せつかり、身の引きまわる思いであります。

私の連れ合いから「自分のことを考えるのではなく、大きな目と感覚で」と注文を付けられ、もったもなことでだと思いました。

この問題の大切なことは、町民の皆様方のご意見やお考えに傾聴し、あらゆる角

度から、私達は議論を重ねて行くのが基本であると考えています。

昭和63年10月の委員会設立総会から、今日に至るまでの経過もふまえながら、最初から合併ありき、反対ありきではいけないと思っています。

要は、国政レベルでの流れもありますが、子々孫々に至るまで、悔いを残さないように議論を重ねて行くことが肝要であり、皆様方の多種多様なご意見を拝聴しながら、ただ聞くだけではなく、心を開いて「聴く」と言う精神で、真摯な態度で、合併問題に取り組んでいきたいと思っています。

委員長 下川路 勲

構成メンバー

委員長 下川路 勲

副委員長 竹内 和男

委員 大森 忠勝

委員 山田 隆一

委員 勢屋 康一

委員 竹井 和明

委員 矢島 恵子

委員 木村 勝弥

委員 中村 信光

町民の声

初めて議会を傍聴して

以前から、機会があれば議会傍聴をしたいと思っていましたし、友人ともそういう話しをしたことがありました。

個人ではなかなか実行に移せずにいましたので、今日はとてもよかったです。

できれば、午後からも傍聴したかったのですが、用事があり残念でした。

何ヵ月前に、中学生が模擬議会を運営したという記事を町報で見ましたその時も、今の中学生はすごいねと感心していました。

議場を自分の目で見て「思っていたよりせまいな」というのが第一印象です。

町長さんや議員さん方が、サンダルやスリッパをはいていらしたのが、ちょっとびっくりし、また、何だか微笑ましく思いました。

議員さんの質問の難しいことになる、チンプンカンプンなものもありました

が、吉木区のことや子供達のこととなると、身を乗り出すような気持ちで聞いていました。眠気がさめるとでもいうのでしょうか。

決められた時間内で自分の意見を述べ、質問をするというのは、とても大変なことだと思います。自分が口べたなので、特にそう思いました。

「私には出来ないなあ」とつくづく思ったらしいです。

実際議場に直接入った訳ではなく、上から見ていただけでしたが、入り口のドアや議員席が少し狭く思い、これからもし車椅子を利用する議員さんがいたら、ちょっと不便なのではないかと思ってしまうました。

床もふかふかしていいそうなジュウタン張りだったし、あの上を車椅子で移動するのは大変だろうなどと考えていました。

傍聴席にも車椅子利用の席があったので、議場の方もちゃんと心遣いされていて、とりこし苦労だといいますが、この点が気にな



9月定例議会を傍聴される町民のみなさん

りました。今日は、本当に勉強になりました。

ありがとうございます。これからは、個人でも機会を作って傍聴に行きたいと思えます。

我が岡垣の顔と心臓

〔女性学級生 Aさん〕

海老津駅に降りた人達は、

町の顔ともいうべき駅前広場の親娘のプロンズ像や、ギャラリーに町内の幼・小中学生を始め、町民の趣味を活かした労作が展示され

ているのを見て、「文化の香り漂う岡垣町だな……。」と感ずることでしょう。

私達町民は、この文化の顔を誇りとして汚さないよう努めるべきです。

次に、町の心臓といえは町役場であり、その源は町議会です。

海老津駅に降りた人達は、町の顔ともいうべき駅前広場の親娘のプロンズ像や、ギャラリーに町内の幼・小中学生を始め、町民の趣味を活かした労作が展示され

らマンネリ化しているようです。

議員の質問も行政側の答弁も、たんに想定問答集を棒読みしているようで迫力が感じられません。

その原因はなにか、それは町政に対する町民の関心が薄いためなのか、議会が町民が町政を知る唯一の場所であり機会でもあります。

このような大切な議会に、傍聴者が少ないのは残念でたまりません。

今の議会の傍聴には、婦人学級のご婦人達の姿があるのみで、男性にいたっては皆無といってよいでしょう。

私達町民は議員達が、どのように活躍しているのか、また、行政はどのような仕事をしているのかを見守る責務があると思います。人は誰しも応援が多ければ多いほど張り切るものです。

そこで私達町民は、議員も行政も熱意をもって業務にあたるように傍聴（応援）に行くべきだと思います。〔東高陽 横田幸雄さん〕

編集後記

「地方分権」と良く言われる言葉であります。国が、地方に分権しようと言うことで、事務手続きだけでなく、お金「財政」も分権していただきたいと思うのは、私だけでしょうか。また、地方分権に答えるとすれば、自治体も大きくなることも必要でしょうし、スタッフの質の向上にも努めて行く必要があります。

9月定例議会、遠賀郡の合併についての調査特別委員会が設置され、この中で、我が町にとってのメリット、デメリット等々を調査研究し、町民の皆様方のご意見などを賜りながら、方向を決めるべきだと考えています。

町民のご意見を、どしどしお寄せいただき、参考にしたいと考えています。

議会広報委員会

- 委員長 大森 忠勝
- 委員 勢屋 康一
- 委員 竹井 和明
- 委員 木原 信次
- 委員 細川 光利